



2021年3月期第1四半期決算説明資料



2020年7月31日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

新型コロナウイルスの感染拡大防止や多発する自然災害により、上下水道の役割がますます高まっています。
当社グループは、人々の生活に欠かせない「水・環境インフラ」の持続に貢献してまいります。

■ 2021年3月期第1四半期の業績への影響について

新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響はほとんどありませんでした。

■ 2021年3月期の業績(予想)への影響について

現時点では、新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は織り込んでおりません。今後の新型コロナウイルスの感染状況に対する国・地方自治体の対応と連携し、当社事業への影響などが明らかになった場合には、適時適切に情報を開示いたします。

I 2021年3月期第1四半期決算ハイライト
および2021年3月期業績予想

II 2021年3月期第1四半期決算概要

I 2021年3月期第1四半期決算ハイライト および2021年3月期業績予想

II 2021年3月期第1四半期決算概要

'21/3期1Q 決算ハイライト(連結)

* 受注高

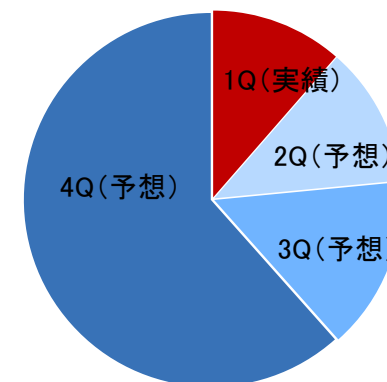
国内EPC、海外、O&M、PPPともに好調に推移し前期実績を大幅に上回る。

(参考)受注残高: '20/3期1Q末 1,563億円 ⇒ '21/3期1Q末 1,644億円

* 売上高・利益

当社グループの事業は、国内公共事業が大半を占め、売上・利益が4Qに著しく偏る傾向があり、例年1Qの売上高は年間の1割程度。(当1Qも例年並みの水準)

'21/3期四半期別売上構成



当1Qは、前1Qとの案件構成の違いにより減収減益となったが、売上高、各利益とも概ね計画どおりに推移しており、通期業績予想*は変更なし。

⇒当期の工事進行見通しを精査し2Q決算発表時に公表。

(億円)

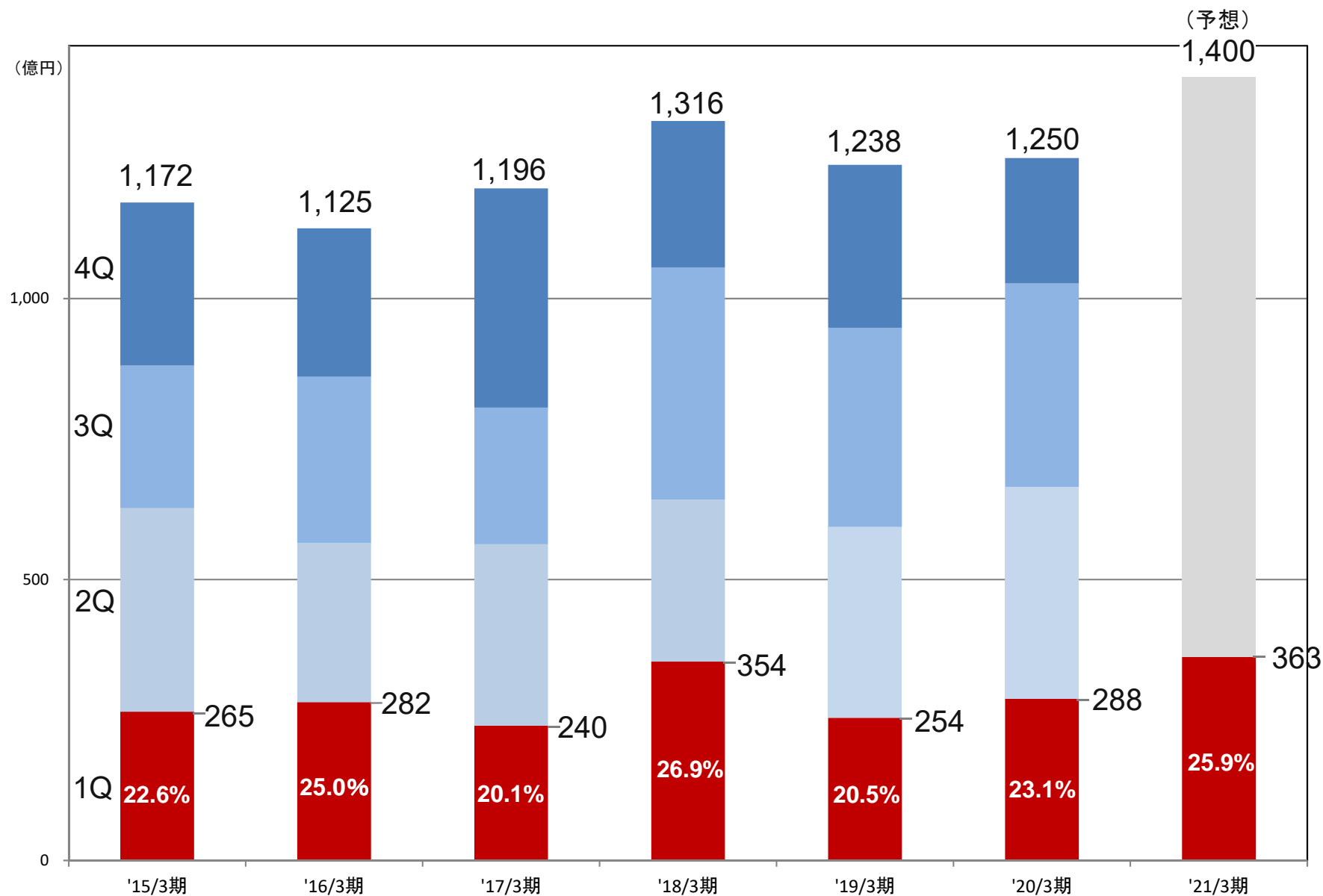
	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	年間配当(円)
'21/3期 1Q実績	363 前期比: +74 +25.8%	142 前期比: ▲7 ▲4.5%	-24 前期比: ▲8	-24 前期比: ▲7	-19 前期比: ▲7	-
'20/3期 1Q実績	288	148	-16	-17	-12	-
'21/3期 予想* (*20.4.27公表)	1,400 前期比: +150 +12.0%	1,300 前期比: +13 +1.0%	90 前期比: +8 +9.4%	90 前期比: +9 +10.7%	62 前期比: +5 +9.2%	80

* 現時点では新型コロナウイルスの感染拡大による業績への影響は織り込んでいません。

※10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

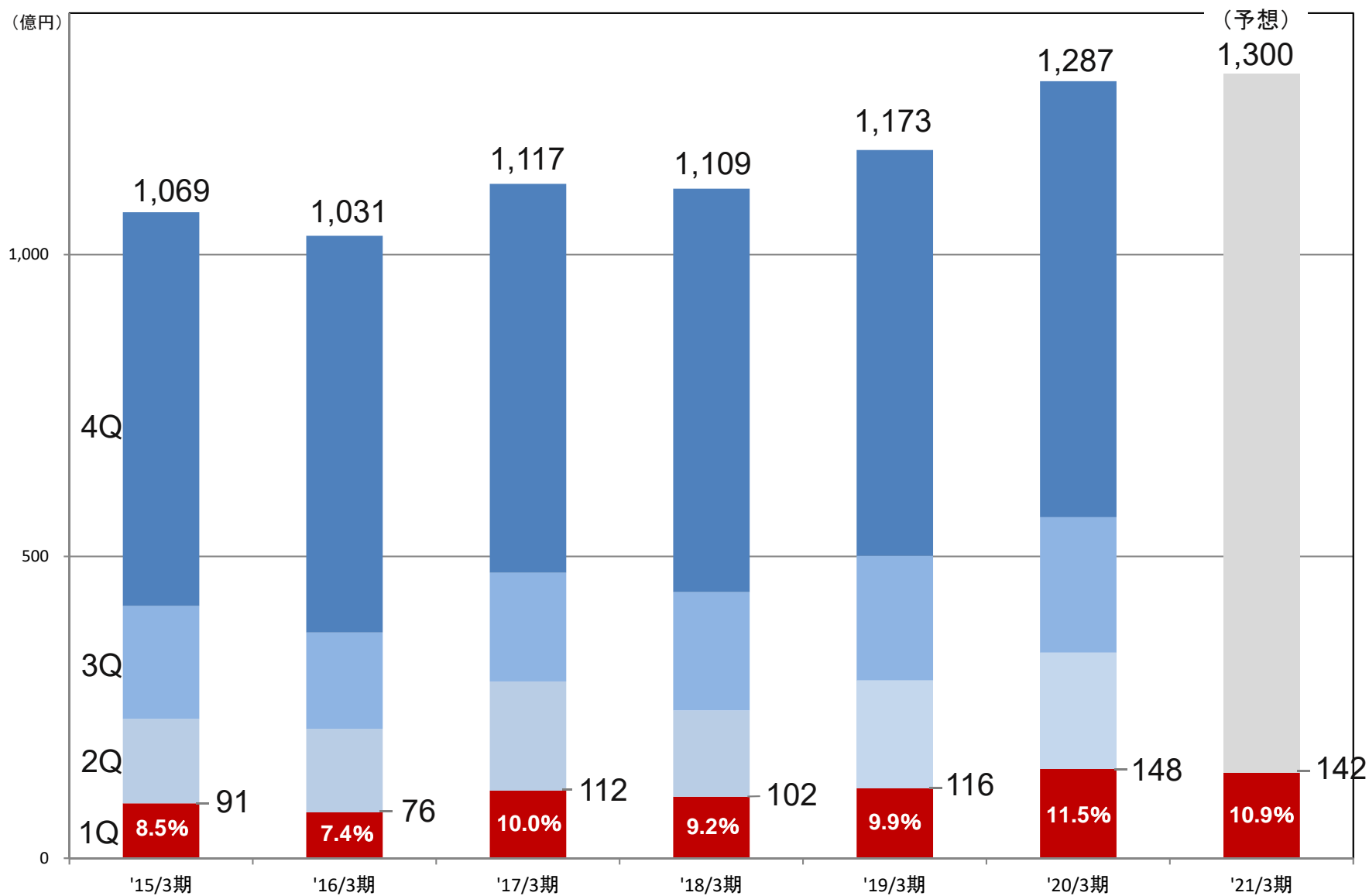
'21/3期1Q 受注高推移

例年1Qの受注高は年間の20~25%前後。当1Qも例年並みの水準。



'21/3期1Q 売上高推移

例年1Qの売上高は年間の1割程度。当1Qの売上高も例年並みの水準。



'21/3期1Qのトピックス

事業活動

- * 当社グループのMETAWATER USA, INC.(米国)がWigen Companies, Inc.(米国)の全株式を取得(4月)

(2020年4月6日 公表リリース)

<https://www.metawater.co.jp/news/2020/04/wigen-companies-inc.html>

- * 「秋田県県北地区広域汚泥資源化事業」汚泥資源化施設が運転開始(4月)



【リニューアルした西日本事務所】

働き方改革の取り組み

- * 所定労働時間の短縮開始(4月)

→1日の所定労働時間を7時間45分から7時間15分に30分短縮

- * ABW(Activity Based Working)の導入で働き方改革を加速(5月)

→働き方改革推進の一環として、働く人自身が仕事内容に合わせて時間や場所を自由に選択するABWを導入
(第一弾として西日本事務所をリニューアル)

- * 60歳以降の処遇制度運用を開始(6月)

→60歳以降の処遇を維持し、最大で75歳までの雇用機会を提供

- * 「スーパー現場代理人制度」運用を開始(6月)

→優れた現場代理人に当社部長クラス同等の処遇を用意



全長25mのビックテーブル(多目的利用可能)



コミュニケーション&リチャージスペース



目次

I 2021年3月期第1四半期決算ハイライト
および2021年3月期業績予想

II 2021年3月期第1四半期決算概要

II 2021年3月期第1四半期決算概要

1 連結損益計算書

2 セグメント別概況

3 連結貸借対照表

4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

	'20/3期 1Q実績	'21/3期 1Q実績	増 減
売 上 高	148	142	▲7
営 業 利 益	-16	-24	▲8
(営 業 利 益 率)	-10.5%	-16.8%	▲6.2%
経 常 利 益	-17	-24	▲7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-12	-19	▲7

* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

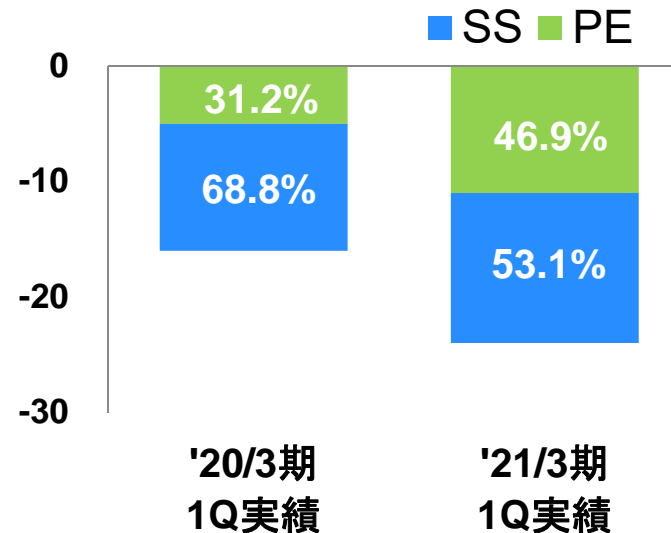
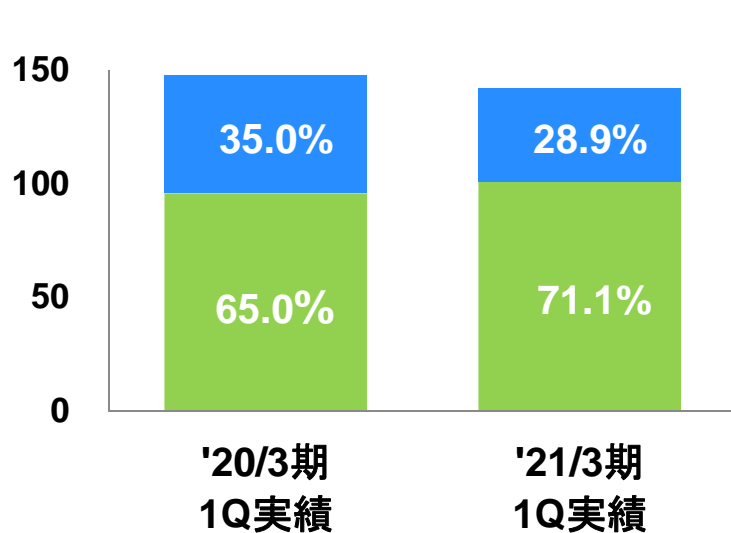
セグメント別概況

(億円)

	売上高		
	'20/3期 1Q実績	'21/3期 1Q実績	増 減
PE	96	101	+4
SS	52	41	▲11
合計	148	142	▲7

	営業利益		
	'20/3期 1Q実績	'21/3期 1Q実績	増 減
PE	-5	-11	▲6
SS	-11	-13	▲2
合計	-16	-24	▲8

概況	
プラントエンジニアリング	<p>国内EPC事業において売上高が好調に推移したものの、営業利益は案件構成の違い等により前期を下回った。</p> <p>海外事業は、売上高、営業利益ともに前期を下回った。</p>
サービスソリューション	<p>O&M事業は案件構成の違い等により売上高、営業利益ともに前期を下回った。</p> <p>PPP事業は売上高、営業利益ともに順調に推移。</p>



連結貸借対照表

前期末の売上債権の回収により、例年どおり1Q末の現金・預金が増加

(億円)

	'20/3期 期末実績	'21/3期 1Q末実績	増 減
現金・預金	136	405	+269
売上債権	781	353	▲428
棚卸資産	81	125	+45
その他	21	28	+6
流動資産計	1,019	911	▲109
有形固定資産	32	33	+1
無形固定資産	60	80	+20
繰延税金資産	28	28	▲0
その他	55	58	+3
固定資産計	175	199	+24
総資産計	1,195	1,110	▲84

	'20/3期 期末実績	'21/3期 1Q末実績	増 減
買入債務	355	242	▲113
短期借入金	*1 (9) 11	(9) 11	+0
前受金	90	171	+81
その他	87	66	▲21
流動負債計	543	490	▲54
長期借入金	*2 (98) 114	(95) 111	▲3
その他	42	41	▲0
固定負債計	155	152	▲4
負債計	699	641	▲58
純資産計	496	469	▲27
負債・純資産合計	1,195	1,110	▲84

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'20/3期 1Q実績	'21/3期 1Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	278	129	▲149
営業キャッシュ・フロー	276	307	+31
投資キャッシュ・フロー	-3	-26	▲22
フリー・キャッシュ・フロー	272	281	+8
財務キャッシュ・フロー	-13	-12	+1
現金・現金同等物に係る 換算差額	0	0	0
現金・現金同等物の期末残高	537	397	▲140

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様により有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 経営企画本部 CSR推進室 広報IR部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	(仮称)新ごみ処理施設整備・運営事業	東京都	SS
	南部流域処理場電気設備工事その4	埼玉県	PE
	燕市・弥彦村統合浄水場等整備事業	新潟県	SS

運転・維持管理 新規受託／業務開始

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	秋田県北地区広域汚泥資源化事業 維持管理・運営業務委託 [業務開始(既受託分)]	秋田県	SS
	伊勢原浄水場 運転維持管理業務委託 [業務開始(既受託分)]	神奈川県	SS
	伏見 水処理施設運転管理委託 [業務開始(既受託分)]	京都府	SS